

2024(令和6)年度 事業計画書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

本年度は前年度に引き続き、定款第5条に定める公益目的事業の充実を図り、公益財団法人としての管理運営を遺漏なく行い、当財団に対する関係各層の一層の理解を深めるため次のとおり各事業を推進します。

1. 助成事業

【予算総額 29,220 千円】

(1) 研究助成金の交付

腸内フローラを主体としたバイオサイエンスの分野において研究活動を行う研究者または研究機関に対して助成を行います。

本年度は一般研究および中長期的視点に立った研究として特別研究に総額 26,000 千円の研究助成を行います。

[予算 26,000 千円]

(2) 国際交流助成金の交付

腸内フローラを主体としたバイオサイエンスの分野において、海外で開催される学会等で自己の研究成果を発表する国内在住研究者の参加費用(旅費・滞在費・参加費)または国内で開催する学会・シンポジウム等に海外研究者を招聘する費用(旅費・滞在費)に対して、地域に応じて1件 35 万円以内、総額 1,000 千円の助成を行います。

[予算 1,000 千円]

(3) 選考委員会について

本事業に関する研究助成・国際交流助成の選考審査については選考委員会が理事長の諮問に応じて行います。選考委員を資料に掲げる委員に委嘱します。

[予算 2,220 千円]

2. 普及啓発事業

【予算総額 14,400 千円】

(1) 腸内フローラシンポジウム

腸内フローラを主体としたバイオサイエンスに関する普及啓発を目的として、「第 32 回腸内フローラシンポジウム」を以下のように開催し、腸内フローラの意義について、一層の解明と最先端の研究成果を広く国内外の研究者等に紹介します。

「第 32 回腸内フローラシンポジウム」の概要(予定)

- ・テーマ: 腸内フローラ・多様性とエコシステム
- ・開催日: 2024(令和6)年 11 月 1 日(金)
- ・場所: ニューピアホール
- ・講師: 海外講師2名、国内講師5名

[予算 12,200 千円]

(2)シンポジウム運営委員会、記録集の作成他

シンポジウム運営委員会が、理事長の諮問に応じて、「腸内フローラシンポジウム」の「テーマの選定」、「講演講師の選定」および「開催・運営・記録に関わる指導業務」を行います。シンポジウム運営委員を資料に掲げる委員に委嘱します。

[予算 2,200 千円]

3. 調査研究事業

【予算総額 0 千円】

腸内フローラを主体としたバイオサイエンスに関する基礎技術の進歩や生体と意義究明に関して専門研究者・学識経験者を通じて文献・学会等の情報調査を行います。今期は計上しておりません。

4. 事業推進

【予算総額 8,050 千円】

前述の1. および2. の事業を適切に運営するため、事業推進費を設け推進します。昨年引き続きインターネットを中心に当財団の事業紹介を積極的に行い、一層の情報提供、情報開示に努めます。

5. 管理業務

【予算総額 5,970 千円】

財団運営に係わる管理業務については、理事会、監事監査、評議員会を開催・運営するとともに、その他諸業務も適切に行います。

公益財団法人としての行政官庁への届出等対応業務を適切に行います。

以上